

10月10日：米中貿易協議への懸念で午後に反落

VN 指数は再び 990 ポイントを突破することが出来ず、米中貿易協議への不透明感から市場のセンチメントも暗くなり、商いも振るわなかった。

ホーチミン取引所の VN 指数は前日比 0.05% 下落し、987.38 ポイントで引けた。同指数は水曜日は 0.04% の下落だった。

日中には 0.31% 上昇する場面もあった。

MB 証券 (MBS) によると、VN 指数は金曜日にワシントンで行われる米中貿易協議の進展を、投資家が様子見する動きに転じたことから反落した。

前場は IT、エネルギー、製薬などのセクターが牽引し上昇する場面もあったが、後場に入り下落に転じた。

また銀行、証券、不動産、小売りなども勢いが続かず、市場を下支えすることはできなかった。

MBS によると、「銀行株は弱含んだものの依然として注目であり、他のセクターは市場を牽引するのに十分ではない」、と述べている。

優良株で構成する VN30 指数が引けにかけて 0.16% 下落したことで、大型株も追随した。

優良株では VIC、HPG、NLV、BID、CTG などの下落が目立った。

買い需要は依然として限定的で、市場は方向性を欠いていると、サイゴンハノイ証券 (SHS) はデイリーレポートで書いている。

投資家が活発な買い意欲を失っているため、流動性も水曜日とほぼ変わらずだった。

ホーチミン市場では 1 億 83 百万株が売買され、売買代金は 4.23 兆ドン (約 1 億 82 百万ドル) となった。

出来高、売買代金は水曜日の 1 億 8,250 万株、4.1 兆ドンからわずかに増加した。

MBSでは、投資家が市場の短期的な上昇トレンドに懐疑的で、明確なシグナルを待ち望んでいると見ている。

現在の状況からは、VN指数は980～1,000ポイントの間でもみ合うと、SHSは予測している。

SHSはまた、米中貿易協議の進展が重荷になり、投資家の慎重姿勢は続くとしている。

ハノイ取引所では、HNX指数は0.51%上昇し、105.16ポイントで引けた。

同指数は3日間で1.38%の上昇となった。

同取引所の出来高は2,680万株、売買代金は3,792億ドンであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられるFiinProという情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。